

令和5年度 第1回中堅・中小企業等のDX促進に向けた検討会 議事要旨

1. 会議の概要

日時：令和5年10月31日（火） 13時00分～15時00分

場所：WEB開催

2. 議事要旨

(1) 討議

○ 手引きの改訂に関すること

- ・ I o TからDXにトレンドが変わったところで劇的な変化があったと思っているが、いまだに「技術を使って生産性を高めることこそDXだ」という認識を持つ支援者があまりにも多いと感じる。
- ・ DXは自社が提供すべき価値は何なのかということをしっかりと考えてビジョンを構築して、ビジョンを構築するための戦略を練る、という考え方であるが、IT業界を中心になかなか頭が切り替わらない現状があるのではないか。
- ・ 今回の改訂では、冒頭の「DXとは何か」という項目に、「DXはI o Tの延長線上にはない」というメッセージを打ち出すべきと考える。
- ・ 今回は大きな改訂をせずに2. 1にするという点に異論はない。事業者にも読んでもらうことが大前提であり、基本路線は変えないということが大事だと思う。
- ・ ベースであるデジタルガバナンス・コードが改訂されたとは誤解されないように気をつけなければいけない。
- ・ 改訂にあたって、可能な限り読み手にとって読みやすく、またビジュアルを活用する点は、今年も継続して、より意識して作っていければと思っている。さらに、よく知っていただく、手に取って見ていただく、理解してもらうという点で、昨年以上の広報への注力がなされるべきと考える。
- ・ 取組事例集については、DXセクション2023と2024それぞれのグランプリ1者、準グランプリ2者を掲載することで良いのではないか。
- ・ 中堅・中小企業がDXに取り組まなければならない理由として、ゲームチェンジというところとコロナに対するBCP的な観点が入っているが、社会情勢は変化し続けており、様々なトピックが出てきている。例えば、最近では人口減少による労働者不足が大きなトピックとなっているが、現在においてもコロナがDXに取り組まなければならない最たる理由であるとは捉えられないよう、時勢を踏まえた改訂が必要になる。

○ DXセクション2024の実施に関すること

- ・ 経済産業省が提示するDX施策の全体像においても、DXセクションはDX認定より上位に位置づけられている。そのため、DXセクションは、DX認定を取って当然の

会社が選ばれてしかるべき。

- 推薦者として列挙されている団体の全てがデジタルガバナンス・コードを理解しているかは不透明であり、適切な企業をDXセクションとして選定するためには工夫が必要。
- 間口を広げるということに異論はない。
- 募集の段階でDX認定の水準が必要というメッセージはしっかり打ち出していく必要がある。
- 一次スクリーニングのところで残念ながら二次に行かないというのは、他薦の場合、まさしく支援機関等がDXを誤解しているということが分かるわけであり、支援機関に対してDXに関する正しい理解を促す効果も期待できると思う。
- 二次スクリーニングで財務指標を特に中堅・中小企業の審査に活用することには、慎重な検討が必要だと考える。
- DXに取り組んだ結果、どういう成果があったかというのを審査するためには一定の指標が必要であり、応募いただく際に企業に対して何らかの定量的なデータは求めるべきであると考え。それは財務データだけではなく、例えば、「来客数がいくら増えました」ということや「製品の不良率が減ったことにより生産工程に余裕が出たことから、時間が何時間生み出された」等のDXの取組の成果が上がりつつあるといった定量的なデータは提出されることが望ましいと考える。
- これまでDXに取り組んできた企業の成果として、数値等の定量的な成果を出すことも、DXセクションにおいて示すことが可能な場なのではないか。DXには取り組んでいるが、成果はこれから、という企業に対しては非常に厳しいことになってしまう数値だが、これまでDXに取り組んできたことを見るという1つの意味はあるのではないか。
- DX認定はKPI・KGIを明確にすることによって認定を取得できる制度であるから、DX認定の企業は当然にKPI・KGIが明確であり、当然そういった点を審査に当たって評価するべきであると考え。

(2) 今後の進め方

- 第2回検討会は2024年1月下旬、第3回検討会は2月下旬から3月上旬に予定している。
- 各委員からのご意見を踏まえて今後の検討会を運営していくとともに、DXセクションの審査プロセスに財務成果を活用する点等については、改めて座長を含めて委員の皆様と検討させていただく。

お問合せ先

商務情報政策局 情報技術利用促進課

電話：03 - 3501 - 2646